

みやけの風

第 148 号

平成15年(2003年)11月1日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

秋の区民まつりや市民まつりに参加された島民の皆さん、お疲れ様でした。あの区でもこの市でも、ゆめ農園のお花が配られたとか。農園の皆さんも出荷がたいへんだったことと思います。島の人から渡された花は、「三宅島のことを忘れないでね」と、ささやいているのでしょうか。

みんなの声

7回目の島民ふれあい集会に向けて

10月26日(日)、第7回三宅島島民ふれあい集会を支える実行委員会が開かれた。主催4団体、共催の三宅村役場のほか、三宅村立小学校・三宅島会などの出展予定者、港区港南三宅会からも開催地域島民会として、また、足立や国立、大田区の島民会代表、その他個人として遠方より駆けつけてくださった方々も、活発な意見を交換し、少しでも楽しい“ふれあいの場”を創り出そうと、話し合いが続いた。印象に残った意見を挙げてみると・・・

(島民発表の参加者に対し)各地域で3年と言う月日、一生懸命取り組んできた音楽、踊り等の成果を、是非舞台上で発表させてあげたい。体験コーナーで火山灰ブリントの実演はできないか? 費用がかかるので再考を要する。伊豆・伊ヶ谷の日帰り帰島出発日なので、船の出発まで待機室を用意して欲しい。五地区の旗は、今回も用意して欲しい。等々・・・

7回目になる『ふれあい集会』を準備し、手伝ってくださる多数の方に感謝しつつ、自分もできることに力を尽くして、楽しい『ふれあい集会』にしていきたいと思う。

(港区 宮下 淑子)

10/25アカコッコ館行事

「島の話をしてしよう!」に参加して

アカコッコ館の山本レンジャーと日本野鳥の会のスタッフの人たちが、企画・準備をしてくれました。参加者は気にいっている島の写真をもって集まりました。

「自分が島で一番気にいっている場所を絵に描いてみましょう」と紙と色鉛筆を渡

されました。たくさんの場所が頭に浮かびましたが、私は長太郎池を上から見た絵の中にチョウチョウウオやニシキベラなど、海水魚を思いっただけ描きました。雄山の林道を書く人、八丁平を描く人、夕日の沈む三本岳の海を描く人、棧橋で釣りをしている絵、ダイビングをしている絵、バードウォッチングをしている絵など、参加者は島での楽しい様子をおしゃべりしあいながら自由に描きました。各自が持ってきた写真を見せ合ったりもしました。富賀神社のお祭りの写真もありました。私の中で記憶が薄れていたことが鮮明によみがえったり、あの時いっしょに楽しく過ごした思い出話に盛り上がったり、とても賑やかでした。

島の話や久しぶりにして、三宅島での生活は、自然豊かな中で、とてもぜいたくな日々だったと思います。早く帰りたい気持ちの方がより強くなりました。

皆さん、寒くなってまいりましたので、お身体を大切にお元気でお過ごしください。ふれあい集会でお会いしましょう。

(あきる野市 穴原 美奈)

第7回ふれあい集会まで後3週間 その1

島民作品大募集!

第7回ふれあい集会開催も決まり、「作品を出してみようかしら」とうれしい声も聞こえてきました。島民の声から始まった作品展も回を重ねるたびに、参加者も増え華やかになってきました。

避難先で作った物、島にいる時に作った物、気持ちをつづった物、などなど、ぜひお寄せください。お気軽にお問い合わせ下さい。

(三宅島支援東京センター事務局)

TEL：03-3260-7573

第7回ふれあい集会まで後3週間 その2 第1回実行委員会のご報告

去る10月26日(日)13:30から、第7回三宅島島民ふれあい集会の内容について、島民の皆さまからご意見を伺うため、島民実行委員会を行いました。今回も事務局を東京センターが担当させていただくこととなり、実行委員会事務局として集会に対する率直なご意見、ご要望をお寄せいただきました。

始めに、上原事務局長より、「楽しい意義ある集会にしたい」とあいさつ。その後、20名を超える参加者により、活発な意見が交わされました。

当日、伊豆・伊ヶ谷の一時帰宅日なので船が出るまで待つ場所、荷物を置く場所を用意して欲しい。 用意します。担当してくれる島民ボランティアを募りたい。 島民発表会を外のステージでさせてもらいたい。(多くの参加者より) 外のステージ、教室内いづれかは、出演者の意向で選んでいただくことに。

5地区ののぼりは、今回も用意して欲しい。 待ち合わせ場所などに前回活用されたようなので、今回も事務局で用意します。

外のステージの司会を推薦して欲しい。(事務局より) 金長雄二さん(三宅島社協) 宮下淑子さん、宮下加奈さんなどが推薦されました。

体育館プログラムの司会は、これまで担当をしている安藤雄太氏(東京ボランティア・市民活動センター副所長)を推薦(事務局より) 了承
毎回、役場職員が最後まで見送ってくれるのが心強い。できれば、三役に出てきてもらって住民に直接声をかけて欲しい。

体育館は出入りがしやすいように、いすをゆったりめに並べる。

出演者のお昼ご飯などは、数を確認した上で余らないように配膳する必要あり。

小学校で子ども達の日頃の活動ビデオを上映したい。 休憩室などで上映してもよいかも。事務局にて調整します。

三宅村高齢者支援センターのお知らせ

このたび、「高齢者支援センター」を新たに下記の場所に、11月4日より開設することとなりました。また、生活全般にわたる心配事、お悩み等のご相談も承りますので、ご遠慮なくご利用下さい。

職員一同お待ちしておりますので、お誘い合わせの上、是非お出かけ下さるようお願いいたします。

1. 事業内容

- (1) 介護予防 介護状態に陥ることなく、健康で生きがいを持って避難生活を送れるよう娯楽、教養的な要素を取り入れた趣味活動(手工芸、音楽、体操等)
- (2) 情報提供 村等からの情報、調査(アンケート)、各種申請書類の提出に伴う代筆等
- (3) 外出支援 センターで実施する近隣への外出支援
- (4) 訪問支援 センターを利用できない方の訪問相談

2. 場 所

北区桐ヶ丘支援センター

北区桐ヶ丘一丁目2番E35号 TEL 03-3907-1173

JR赤羽駅より国際興業バス2番線赤羽郷下車(王子信用金庫隣り)

3. 開所時間等

午前9時00分から午後5時00分まで

月曜日から金曜日(ただし、土・日曜日及び年末年始は休業)

4. 利用料

原則的には無料ですが、手工芸及び外出行事等に係わる費用については、若干の負担があります。